



# 千種学区（弓削町内会）における取組内容

## 1 千種学区（弓削町内会）



- 岡山市東区に位置
- 世帯数 116 世帯
- 人口 248 人（※R3、3月時点）



<災害リスクの状況>

- 洪水浸水想定  
2～5m、5m以上
- 土砂災害警戒区域  
58か所

※平成30年7月豪雨時の浸水状況

## 2 取組体制

- 地域の関係者
  - ・ 弓削防災会総代・・・総合調整
  - ・ 常会長（班長）・・・要支援者の人選及び避難調整
  - ・ 民生委員・・・要配慮者への説明と聞き取り、情報提供
- 岡山市関係機関
  - ・ 危機管理室・・・計画作成全般への支援、助言
  - ・ 保健福祉企画総務課・・・福祉避難所との調整
  - ・ 保健センター・・・主に医療・保健的な観点での助言
  - ・ 地域包括支援センター・・・主に介護的な観点での助言

## 3 取組の流れ

### ① 対象者の選定

→単位町内会の役員、民生委員で要配慮者の選定を行う。

### ② 地域への説明

→要配慮者の住んでいる組長（常会長、班長等）に意見聴取。

### ③ 訪問・聞き取り

→要配慮者の自宅を訪問し、個別避難計画について説明

町内会の役員と班長に加え、普段から本人の状況をよく知る民生委員と一緒に訪問  
→本人にとっては、話しやすく、安心できる。  
理解も得られやすい。



### ④ 計画記入への依頼

→本人又は代理人の同意が得られた人に計画様式への記入を依頼。

### ⑤ 調整会議（町内会の対応を協議）

→提出された個別避難計画に基づき、町内会としての避難計画を作成



### ⑥ 要支援者リストの作成・関係機関に共有

→災害時要支援者リストを作成し、連合町内会、岡山市へ共有。

### ⑦ 避難訓練を実施

→個別避難計画に基づいて、公民館に開設した一般避難所の要配慮者スペースや近隣の特別養護老人ホームに開設した福祉避難所への直接避難等を行う訓練を実施。

#### 1) 避難誘導訓練

自主防災組織と消防団とが連携し、要支援者の自宅を回り、避難の呼びかけを実施。



#### 2) 一般避難所での対応

公民館の和室に要配慮者用スペースを設置。受入完了後、避難生活の長期化を想定し、保健師による健康観察を実施。



#### 3) 福祉避難所での対応

福祉避難所への直接避難を想定した受入を実施。災害時に使用する簡易ベッドや施設内の設備を体験。



#### 4) 訓練の振り返り・課題検討会

避難訓練参加者で、訓練全体の振り返りを行い、今後の課題などについて共有。

